

アンケート調査結果

調査日：2025 年 2 月 12 日、2025 年 3 月 4 日

調査方法：別紙調査用紙によるアンケート方式

調査対象：D 食、D 食塩 6 g 食、H 食、ch 食、F 食、R 食、T 食、C 食、

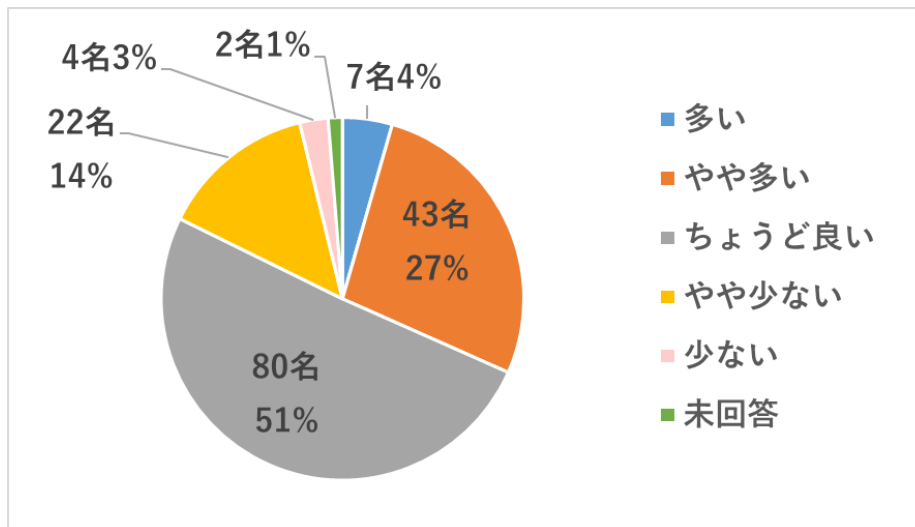
配布枚数：253 枚

回答枚数：158 枚

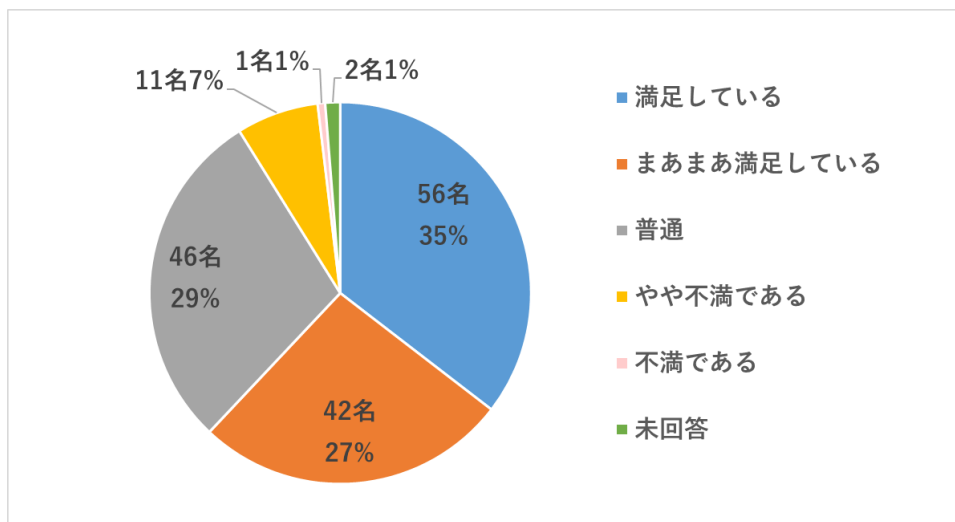
回答率：62.5%（前年：63.0%）

【食事全般について】

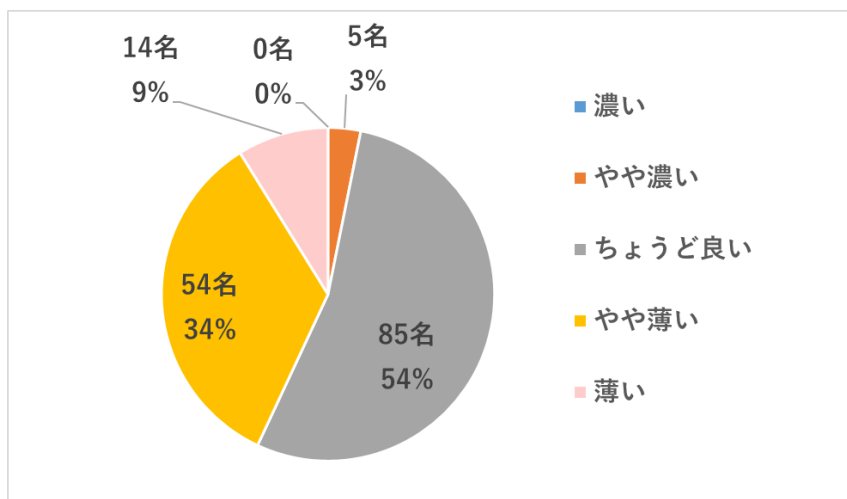
1. 主食の量はいかがですか？ （n=158）



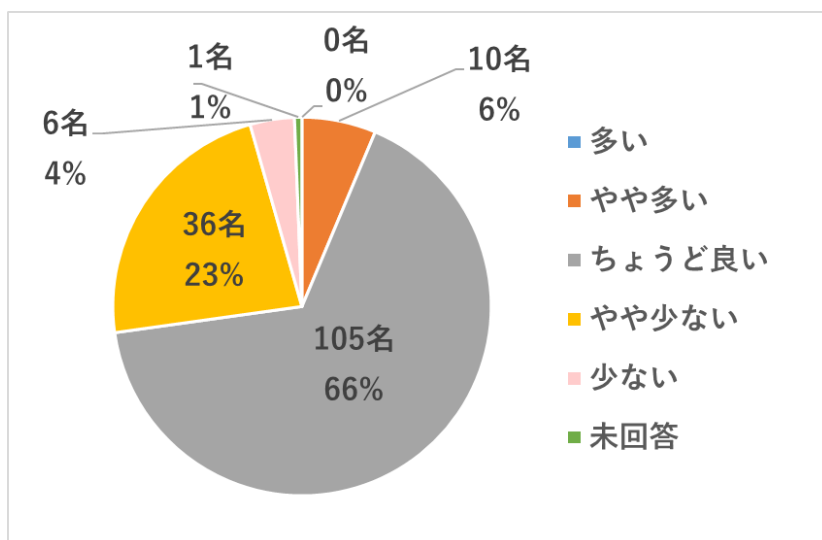
2. 適温で提供されていますか？ （n=158）



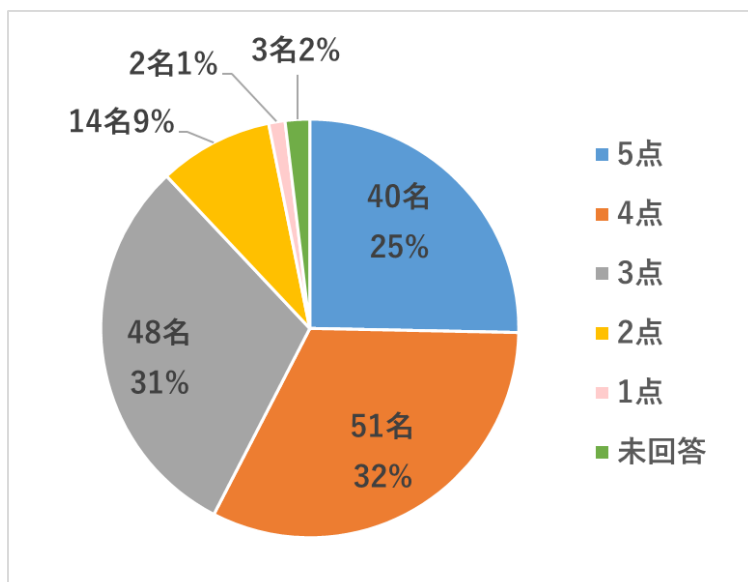
3. おかずの味つけはいかがですか？ (n=158)



4. 品数はいかがですか？ (n=158)



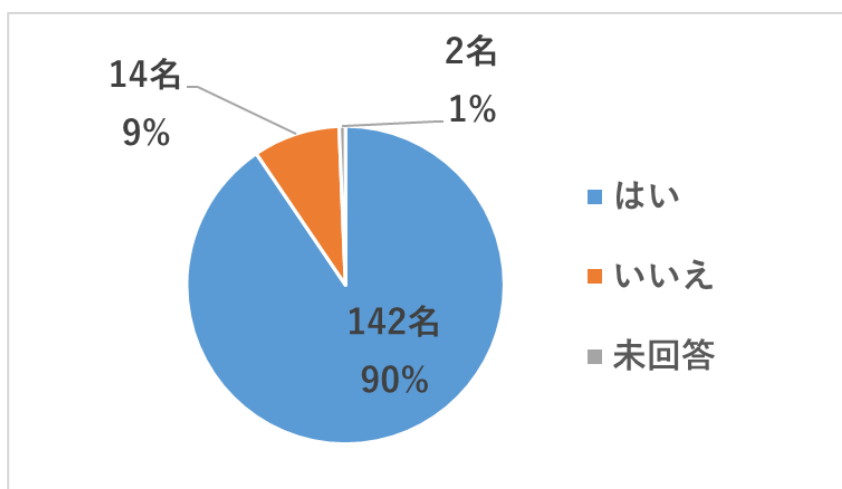
5. 当院のお食事を、5点満点で総合評価すると何点になりますか？



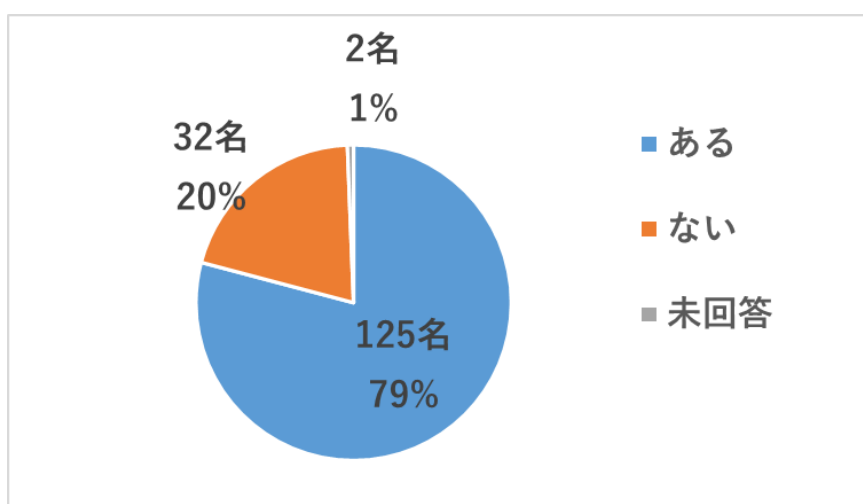
平均点：3.73 点

【栄養指導の参考にさせていただくための質問】

1-1.現在召し上がっているお食事は、治療のために栄養量を調整したお食事になっていることをご存じですか？〈全体〉（n=158）

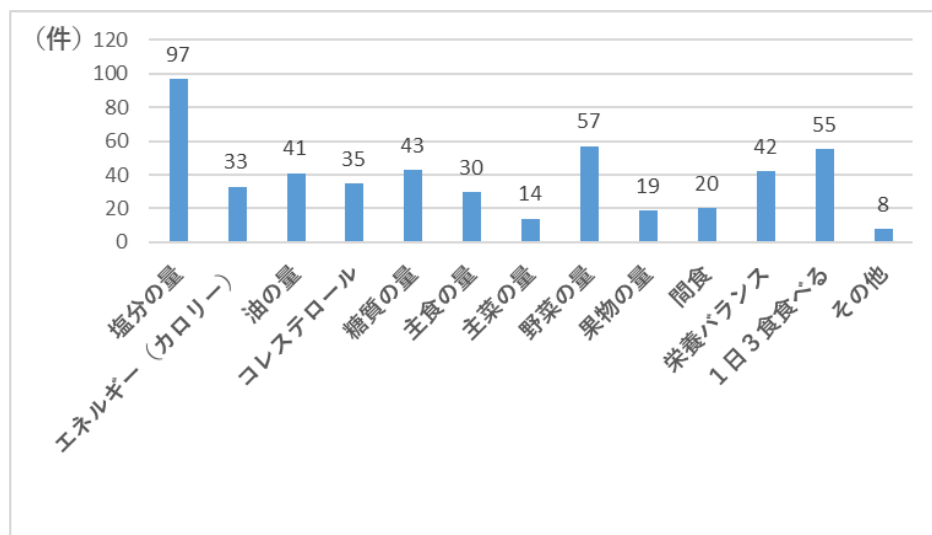


2.(1-1)普段のお食事で気を付けていることはありますか？〈全体〉



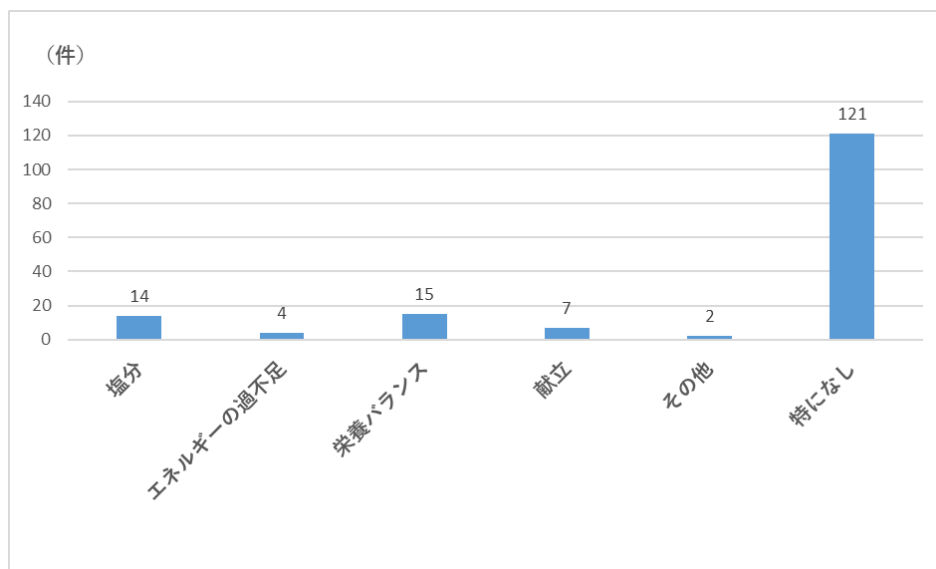
(n=158)

具体的に気を付けていること（複数回答 n=125）

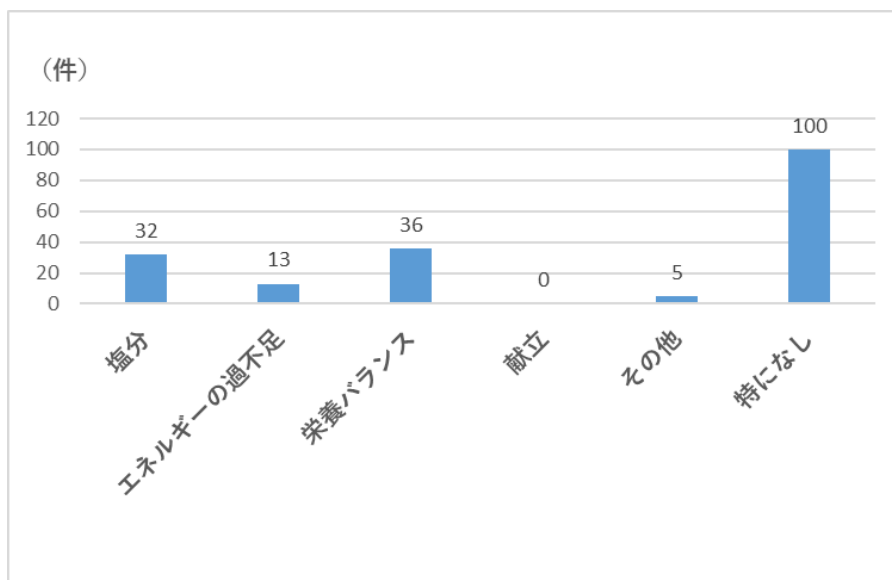


3. お食事について気になっていること、栄養士に聞いてみたいことはありますか？

(1) 入院中の食事について (複数回答 n=158)



(2) 自宅での食事について (複数回答 n=158)



本調査を通して

今回は治療食を召し上がっている患者様に、食事満足度、治療食に対する意識調査と栄養指導時のニーズ（特に知りたい事）についてお聞きしました。

食事満足度の総合評価の点数は、昨年とほぼ同じ結果となりましたが、腎臓病食では平均点が低い結果となり、今後の献立改善において重点項目として検討していきます。

治療食に対する意識調査については、普段の食事で気を付けていることがある方が約8割と、多くの方が治療のための食事について意識していることがわかりました。気を付けている内容としては「塩分の量」「野菜の量」「1日3食食べる」が多く、「主菜の量」が少ない結果となりました。主菜の量は、多すぎても少なすぎてもたんぱく質や脂質の摂取量をコントロールするうえで重要となるため、意識付けられる指導を心掛けていきます。

また、病院での食事を退院後の参考にしたいという意見が寄せられました。栄養指導時のリーフレットへ献立を掲載するなど、ご自宅での食事の支援に繋がる内容も盛り込んでいきたいと思っています。

今後も嗜好調査による患者様のご意見をもとに、より良い食事提供と栄養指導ができるよう努めてまいります。調査にご協力いただきありがとうございました。

横浜南共済病院 栄養科一同